

保育士試験実技試験の内容

○保育士試験出題範囲（保育実習（保育実習理論及び保育実習実技））（抄）

（「保育士試験の実施について」（平成15年12月1日雇児発1201002号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知より抜粋）

第1 出題の基本方針

保育に関する教科全体の知識・技術を基礎とし、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解し、実践する応用力を問うことを基本とする。

保育実習理論については、保育所、児童福祉施設の役割や機能について、また、保育士の職業倫理について具体的に理解しているかという点のほか、保育実践に係る計画（保育課程・指導計画）と実践（保育内容）及びその評価や児童福祉施設における児童の生活と援助活動に関しても配慮が必要である。

第2 出題範囲

A 保育実習理論（略）

B 保育実習実技

1 音楽表現に関する技術

課題に対する器楽・声楽等

2 造形表現に関する技術

課題に対する絵画・制作等

3 言語表現に関する技術

課題に対する言葉に関する遊びや表現等

第3 出題上の留意事項

1 保育に関する知識、技術や受験者の思考力や創意工夫が総合的に把握されやすい内容を選択する。

2 児童の保育の実際において、必要度及び活用度の高い内容を重視する。

3 児童の遊びを豊かに展開するための技術とその応用力についても考慮する。

4 保育実習実技の受験者が多い場合、多人数が同一条件のもとに受験できるよう配慮する。

○現行の保育士試験の実技試験の内容

(平成27年保育士試験「受験の手引き」より抜粋)

(1) 音楽表現に関する技術

○ 幼児に歌って聞かせることを想定して、課題曲(2曲)の両方を弾き歌いする。

求められる力：保育士として必要な歌、伴奏の技術、リズムなど、総合的に豊かな表現ができること

- ・ ピアノ、ギター、アコーディオンのいずれかで演奏する。(楽譜持ち込み可)
- ・ ピアノの伴奏には市販の楽譜を用いるか、「受験の手引き」に添付の楽譜コードネームを参照して編曲したものをを用いる。
- ・ ギター、アコーディオンで伴奏する場合には、「受験の手引き」に添付の楽譜コードネームを尊重して演奏する。
- ・ いずれの楽器とも、前奏・後奏可。歌詞は1番のみ。移調可。

(2) 造形表現に関する技術

○ 保育の一場面を絵画で表現する。

求められる力：保育士として必要な造形表現(情景及び人物等を豊かにイメージした描写や色遣いなど)ができること。

- ・ 試験当日に示される問題文で設定された一場面を、同じく示された条件を満たして表現する。

(3) 言語表現に関する技術

○ 3歳児クラスの子どもに「3分間のお話」をすることを想定し、4つのお話のうち一つを選択し、子どもが集中して聴けるようなお話をを行う。

求められる力：保育士として必要な基本的な声の出し方、表現上の技術、幼児に対する話し方ができること。

- ・ お話は、子どもが20人程度受験者の目の前にいることを想定して行う。
- ・ お話の編集、展開に関する決まりはないが、3分でまとめる。